

あの日、57.1%が聞こえなかったという事実。



大震災に見舞われたあの日、防災無線は多くの情報を届け、被災者の意識を避難行動へと切り替える重要な役割を果たしました。

しかし、震災後の調査によると驚くことに、半数以上の人が防災無線は「聞こえなかった」と回答しています。

災害時・緊急時に、貴重な情報源となる防災無線。今後予測されている地震などに備えるためにも、その重要性は高まっています。

ひとりひとりの備える意識と、防災設備の充実で防災力を高めていくこと。

命を救うために、わたしたちにできることがあります。

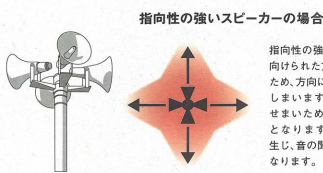
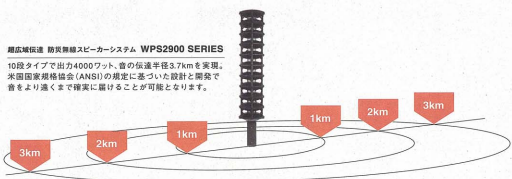
※(国土)監修書「災害時における情報伝達の在り方に関する調査」(平成24年)

防災は、備えることから始まる。
超広域伝達性能を誇る防災無線
超広域伝達 防災無線スピーカースystem WPS2900 SERIES

より速くへより確実にそしてより多くの人へ。
ウィレンは広大なアメリカで40年間磨き上げられた、
360°超広域伝達性能の防災無線スピーカースystemです。



監修書「災害時における情報伝達の在り方に関する調査」(平成24年)
【調査結果】
東日本震災の発生時から4月末頃までにおける被災者の方々の情報行動や付(情報伝達設備)の活用について調査を実施。
●調査対象者: 204名
●調査地域(調査対象地域): 茨城県・千葉県・東京都(多摩市・大田区・目黒区・世田谷区・目黒区)
●調査方法: フェーストを事前配布し、調査票などを記入し回収。
※なお、この調査は、各自治体の防災無線を調査対象とし、調査を実施。
●調査期間: 平成23年9月～平成24年1月



指向性の強いスピーカースystemの場合
指向性の強いホーンスピーカースystemでは、向けられた方向にしか音がとばないため、方向によっては音が弱くなってしまう。また、音の届く範囲がせまいため多くの防災無線が必要となります。さらに音の重なりが生じ、音の聞こえが悪くなる原因となります。



WPS2900シリーズの場合
スピーカースystemを中心に360°の広範囲のエリアをカバーし、さらに出力400~4000ワットの強力な音を発生させることができ、音をささげることのない独自のスピーカースystem設計により広範囲のエリアに音を届けることが可能となります。

総輸入代理店
株式会社ホルムス ウィレン事業部 防災無線課
本社 〒565-0802 大阪府吹田市青葉丘南6-33 TEL06-6878-3030
東京営業所 〒113-0033 東京都文京区本郷2-34-7 TEL03-5803-0708

当社は警告灯やサイレンメーカーとして創業60年の歴史を誇る米国ウィレンエンジニアリング社の日本における総輸入販売元として、約20年前より国内にて営業活動させていただいております。現在では全国各地市町村の緊急車両等へさまざまな警告灯や照明灯などのご採用をいただいております。

商品詳細・お問い合わせはホームページをご覧ください。
www.whelen.jp

下記展示会に出展いたします。みなさまのご来場を心よりお待ちしております。
【第17回震災対策技術展・自然災害対策技術展・】 日程: 平成25年2月7日(水)~8日(金)
会場: パナフィコ横浜/アネックスホール
【東北/防災・減災ソリューションフェア】 日程: 平成25年2月27日(水)~28日(木)
会場: 夢メッセみやぎ